

1. 評価報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	1970102008
法人名	ドリームワークス有限会社
事業所名	グループホーム ドリーム
所在地	〒 400-0811 山梨県甲府市川田町367-1 電話番号 055-232-9889

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	山梨県甲府市北新1丁目2-12号		
訪問調査日	平成20年1月10日	評価確定日	平成20年2月4日

【情報提供票より】 明治33年1月0日 事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10人	常勤	1人 非常勤 9人 常勤換算 7.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1	階建ての 0 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	— 円	
敷金	<input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有(100,000) <input type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	— 円	昼食	— 円
	夕食	— 円	おやつ	— 円
	または1日当たり 1500 円			

(4) 利用者の概要 平成19年4月1日 現在

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	6名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.8 歳	最低	72 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	笛吹中央病院	馬場歯科医院	石和共立病院
---------	--------	--------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】 作成日 平成20年1月10日

管理者は永年老人福祉施設に勤務していた経験を活かし、平成17年8月に開設された当時より地域密着型のサービスとして家庭的な環境を大切に地域住民との交流をはかることを目標としている。事業所は閑静な住宅街に立地して、近くには大型店や県立青少年センター、神社などがあり、管理者が生まれ育った地域であるので近隣との交流も密に行なわれていて、利用者にとっても暮らしやすい環境となっている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価で、茶碗・湯のみ・箸など出来るだけ馴染みの食器を使用出来るよう検討して欲しいとの改善課題は全職員で話し合うと共に、家族の理解と協力が必要なので今後も働きかけて取り組んでいく
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ① 事業者、職員は自己および外部評価を実施する意義を理解し、評価結果を通して改善点を会議で話しあい、全職員で取り組んでいる
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議の内容は議事録に記録してそれを基に職員間で話し合いサービスの向上に活かしており、市町村とも今後も運営の実態を共有し、協働関係を築いていく姿勢がある
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 意見箱の設置はあるが今までに意見などは寄せられていないが、家族が意見や不満が言い易いように雰囲気づくりに配慮しながら、定期的な報告時と家族の来訪時に気軽に意見や苦情を言ってもらえるよう取り組んでいる
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 平成18年4月より自治会に加入しており、町内祭りや盆踊り、近くの神社への初詣などに参加、また近所の小学生や人々の訪問があり、地元の人々と交流することに努めている

2. 調査報告書

事業所名：グループホーム ドリーム

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成17年の開設時より地域密着型の理念をつくりあげており、利用者が家庭的な環境の中で地域住民と交流を深めながらその人らしい生活が送れるよう支援している		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日のミーティングや職員会議の際に理念について十分話しあわれており、利用者の人権を尊重し個々の人格の理解に努めており、職員は明るく接し理念の実践に向けて取り組んでいる		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	平成18年4月より自治会に加入しており、町内まつりや盆踊り、近くの神社への初詣等に参加、また近所の小学生や人々の訪問があり、地元の人々と交流することに努めている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	事業者、職員は、自己および外部評価を実施する意義を理解し、評価結果を通して改善点を会議で話し合い、全職員で自己評価に取り組んでいる		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は9名のメンバーで構成され、会議の内容は議事録に記録して、それを基に職員間で話し合い、サービスの向上に活かしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者は、2～3年で異動することが多いが、新しく担当になられた市職員が、運営推進会議の実態を知りたいと推進会議に参加したこともあり、今後も運営の実態を共有し、協働関係を築いていく姿勢がある		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ドリーム通信を発行して利用者の暮らしぶりを知らせているが、健康状態や職員の異動については定期的な報告時と家族の来訪時など、本人や家族の状況に合わせて個別の報告がなされている		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置はあるが、今までに意見などは寄せられていない。来訪時には、意見や不満が言いやすいように雰囲気づくりに配慮している		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者との関係を大切にしながら、職員が代わる場合、十分な引継ぎを行って利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の年度計画をたて出来る限り参加し、報告を職員会議の折に行い全職員に周知している		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修会に参加し交流しているが、相互訪問等の活動はなく今後は更に相互訪問を行いたいとしている	○	相互訪問等の活動を通じて更に交流を図りサービスの質を向上させる取り組みを期待します

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなり利用するのではなく、本人が安心して利用できるために事業所に数回来訪してもらい他の利用者・職員・場の雰囲気に馴染める工夫をしている。待機者に対しては、介護支援専門員を通して連絡を取り合っている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者の苦労話や娘さんの話等を聞きながら喜怒哀楽を共にし、一方的にお世話するのではなく対等の立場として支え合う関係を築いている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に個々の状態や希望を把握し、ご飯の量や美容院へ行きたいとの希望を受け、馴染みの美容院へ行く事の支援がされた		
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の希望や職員の気づき、医療関係者との連携をとり介護計画を作成している		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	常に現状に即した介護計画を作成しているので、日頃の変化や細かい気づきを大切にして見直しがなされている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が来訪時に気軽に食事を一緒に出来るよう低料金で提供したり、宿泊を希望する場合は寝具の用意をして支援している。また美容院への送迎支援も行なっている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院から訪問診療や訪問看護の協力が得られているので利用時に本人や家族の希望を聞き支援している。現在、利用前からのかかりつけ医の受診を1名が受けている		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、介護度4が2名、介護度5が1名おり、重度化しているが医療関係者、ケースワーカーとの連携を密にし本人、家族との話し合いを重ね、本人にとって最もよい方針を全員で共有している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	事業所は、利用者の人権・人格を尊重し、一方的にお世話するのではなく、対等の立場として接しており、プライバシーを損ねるような言葉かけや対応はなく、その時出来る事を待つ言葉かけがされていた		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先させるのではなく、個々の性格や日々のコンディションを把握し、隣地にある農園で季節の野菜を収穫したり散歩をしたり希望にそった支援がされている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者によっては、食事の準備が難しくなっているが、テーブル拭きや食後の食器拭き等できることを行なっている。昼食の天ぷらうどんも個々の状態に合わせて麺を細かく切ってスプーンで食する支援がされていた		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月、水、金の週3回、午後入浴しているが、希望があれば毎日、午前、夜間も行なえるよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴や力を活かし洗濯たたみや廊下の掃除、そば打ちを教えて貰ったときの利用者の自信と喜び、余暇のゲーム・習字・裁縫等の楽しみごと、散歩やドライブの気晴らしの支援をしている		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所は立地条件の良い場所にあるので近隣の大型店での買い物、神社への散歩、ドライブにもよく出かけている		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	セキュリティとしての家庭同様のロックはしているが白い扉は明るく威圧感はなく、いつでも玄関からロックをはずし出られるようになっている		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	予防管理編成表・自衛消防編成表・非常時連絡網・消防計画書に基づき6月・11月の2回避難訓練が行なわれており、写真に様子が記録されている。また、管理者が地元の元消防団員であり地域の人々の協力が得られる働きかけが日頃よりできている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士により、カロリーチェックも行なわれ個々の水分摂取量、食事摂取量が記録されている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広々としたリビングや共有部分は明るく温度も音響も利用者にとって不快感を与えない工夫がなされている		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔感のある各居室は利用者や家族の希望にそって居心地よく過ごせる工夫をしている		